

政権交代で労働者大会にも変化が！

副委員長 陣内恒治

韓国ではのべ100万人以上の市民が参加し、抗議集会やロウソク集会など民衆の力で、朴槿恵（パク・クネ）前大統領を退陣させた。2017年5月の大統領選挙では文在寅（ムン・ジェイン）が当選して与党が敗れた後、労働環境が向上したのか、非正規労働者問題はどのように変化したのか、サムスンとの労災職業病などたくさん関心があり、日韓労働者定期交流、全国労働者大会参加訪韓団として11月6日から12日まで訪韓してきました。

7日（水）、ソウル市内の日本大使館前にて、日本軍「慰安婦」問題解決のための水曜集会が行なわれた。2007年の水曜集会に参加した時は市民団体が多く学生は少なかった。しかし、政権交代のせいなのか、各地の高校生や大学生たち約100人が参加していた。平日の昼間だというのにこれだけ集まり、自分たちで横断幕やプラカードも作成していた。なんと学生たちは授業の一環で参加しているのです。日本政府への抗議だけでなく日本メディアには歪曲報道の不信と困惑があり、そして韓国社会を変えたいと訴えていた。

ILO基本条約批准と11月のゼネスト

民主労総全州本部会議室で、ILO基本条約（労働者の基本的権利の尊重を掲げた国際労働機関）の内容で討論会を開催した。韓国政府が批准しなかった核心条約は、結社の自由(87・98号)および強制

労働の禁止(29・105号)に関する条約4つで、これまで韓国はこれを批准せず、国際社会から労働基本権の完全な保障がなされていない国家に指名されてきた。日本では「強制労働の廃止」（105号条約）と「雇用と職業における差別待遇の禁止」（111号）の2条約を批准していない。安倍政権は「働き方改革」で長時間労働の是正や非正規労働者の待遇改善を掲



げるが、国内の労働環境が国際的な基準からかけ離れていることを意味するのだ。

労働条件の改善を！6万人が参加！

民主労総（全国民主労働組合総連盟）は、11月10日正午から、光化門やソウル市庁前の道路を封鎖して、劣悪な労働条件の改善を要求し、労働条件の改善を訴える大規模な全国労働者大会が開催され

た。集会では「文在寅（ムン・ジェイン）政権に対する期待と要求が失望と絶望に変わっている。経済と民生問題を最低賃金引き上げのせいにした。最低賃金算入範囲拡大を含めた最低賃金法改正などは改悪だ」と主張した。

そして11月21日、全国14カ所で「積弊清算！組合活動をする権利保障！社会大改革実現！民主労総

全面スト大会」を開き、ソウルの1万人をはじめ全国約4万人の労働者が参加した。この日の全面ストには現代自動車の各事業所や、保健医療労組、非正規教授労組など各労組も展開し、全体で約16万人が参加した。

今回の訪韓で感じたことは政権が交代したがすべてが解決するものではない。最低賃金引き上げも小規模事業者などから批判の声が高まり公約を撤回した。しかし、南北首脳会談や済州島4・3犠牲

者追悼式では完全な解決を約束した。

労働者大会の変化として2007年は片側4車線の計8車線に人がなだれ込み、乗用車、市内バスなど全てストップさせ道路を閉鎖して集会が開催された。ターミネーターのようなガードをつけた警察官が200人以上いて参加者と衝突もあり放水車で死亡者が出るような場面が多かった。

しかし、今回の大会では交通整理をして車両を止めている警察官はいたが、集会を邪魔する警察官は見当たらない。朝から道路の真ん中に舞台を設置してクレーンでスピーカーを吊り下げ、6万人も集まると舞台が見られないので、

数カ所に分けて、5mの液晶画面で舞台を映していた。すべての参



加者に連帯感があり、10年ぶりに爽快的な集会に参加できた。

私たちの課題

日本では10万人が集まり「安倍やめろ！」と訴えてもなにも変わ

2018岩国行動

執行委員 林 繁行

11月24日（土）～25日（日）の両日にかけて2018岩国行動が取り組まれ、大阪から林、広島からは奥組員、八木組員、中央本部から松本特別執行委員が参加しました。

初日は、2018岩国・労働者反戦交流集会では、冒頭、おおさかユニオンネットワーク代表の垣沼陽輔さんからの挨拶から始まり、大阪全労協の但馬けい子さんより基調提案、報告としては、全港灣松本耕三特別執行委員より、労働者反戦闘争と全港灣の闘い、続いては、全日建連帯労組関生支部より、拜外主義者や広域協組からの大弾圧を跳ね返す取り組み報告と映像など、南部全労協の藤村妙子さんより、横田基地と労働者反戦闘争の取り組み、ユニオン北九州

の本村真さんからは、合同労働運動の正念場と報告を受けた。参加者より質疑・意見交換、発言を求め、初日を終了しました。



全港灣中央松本特別執行委員

翌日の25日（日）は、基調報告から始まり、各地域からの参加者から米軍基地増強に伴う弊害や騒音等、また相次ぐ米兵による事故・事件の多発などを、岩国、広島、萩・阿武、韓国星州ソソン里、沖

らない。経済政策や労働条件に格差をつけ、豊かな生活に向けた経済対策ではない。今後、年金の保障も減少されると予測され、子どもや孫に自慢できる社会づくりを労働組合の組織内だけでなく、市民とともに考える場所づくりが必要だ。これから闘う労働組合が弱くなれば悪質な企業が増加する。労働条件も低下し組合離れが当たり前になりかねない。自分の労働対価を得られず、経済搾取を受けている時点で奴隷化されてはいないのか。韓国のように闘う同志を増やし、ロウソク集会のような大規模な行動をしよう！

縄、京丹後、横田、労働者集会の報告、連帯生コン支部からの特別アピール、反原発運動からの連帯のアピールを行い終了しました。

12時30分から、岩国市役所をスタートして、新しい基地正門前まで基地反対・撤去を呼びかけデモ行進を行いました。

なお今、岩国基地は強化され続けています。今年3月には米軍厚木基地から空母艦載機60機が移駐を完了したことによって戦闘機数にして120機となり、岩国基地は東アジア最大の米軍基地となっています。また、愛宕山での米軍住宅建設問題と、「岩国市内に米軍家族がどれくらい居住しているのか」などの質問に対して、岩国市長は、岩国米軍基地の米軍の離発着についても全く情報を公開しないなど、岩国市民に対して不誠実な対応が続いている。今後どのように岩国米軍基地が増強されていくのか、アメリカの政策に追随する日本政府に対して、怒りの声をあげるばかりである。